

平成28年度 第3回理事会議事録

1. 開催日時及び場所

(1)開催日時 平成29年3月14日(火) 14時00分～16時00分

(2)開催場所 千代田区神田錦町3-21

ちよだプラットフォームスクウェア5階 502会議室

2. 理事数及び出席理事数

(1)理事数 7人

(2)出席理事数 6人

3. 出席理事の氏名

稲田伊彦、麻生茂、鍛冶壮一、中沢孝、藤島豊久 高田正隆

4. 欠席理事の氏名

松本晟

5. 出席監事の氏名

清水真金、棚橋秀行

6. 事務局の氏名

小定弘和、安田みお(議事録作成)

7. 報告事項

(1)新規分団設立について

(2)平成28年度決算見込みについて

(3)宇宙子どもワークショップ2017in上田の計画について

8. 審議事項

第1号議案 平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

9. その他

(1)理事候補者について

(2)次回評議員会及び理事会開催日程について

(3)連携団体規程の改定について

(4)2017YAC活動における宇宙ホンモノ体験「衛星データ」の展望

「衛星データ」を巡る諸活動の質的転換

10. 議事の経過及びその結果

(1) 理事会開会宣言

開会に先立ち稲田専務理事より、本日、急遽松本理事長より欠席の連絡を受け、本来定款第33条に基づき理事長が議長となるところであるが、公益財団法人日本宇宙少年団理事の職務及び権限規程第6条に基づき、専務理事が理事長職務を代行し、議事進行を行う旨の説明を行い、平成28年度第3回理事会の開会を宣して議事に入った。

(2) 出席者と定足数の確認

稲田専務理事より、理事現在数7名、本日出席理事6名、監事2名、定款第34条の定足数を満たし本理事会が成立していることを確認した。

(3) 平成28年度第1回議事録の確認

稲田専務理事より、平成28年度第1回理事会議事録について確認を行った。

(4) 報告事項

1) 新規分団設立について

事務局小定より、参考資料No.1に基づき分団設立経緯に関する説明があった。
稲田専務理事より、すでに分団設立の承認が得られており、予定通り4月にJAXA地球観測センターにおいて中沢理事立会いの下、東松山分団が設立される旨の説明があった。

2) 平成28年度決算見込みについて

事務局安田より、参考資料No.2に基づき、平成28年度の決算見込みについて、平成27年度に比べ賛助会費の落ち込みによって、今年度は50万円弱の赤字となる旨、説明があった。

3) 宇宙子どもワークショップ2017in上田の計画について

藤島理事より、参考資料No.3に基づき、9月に長野県上田市において開催が予定されている宇宙子どもワークショップについての概要説明があり、本資料はすでに各分団に展開されている旨の説明があった。

(5) 議案審議

第1号議案 平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

稲田専務理事より、資料No.1に基づき、平成29年度事業計画(案)と平成29年度収支予算(案)について説明を行った。事業計画(案)の内容については従来通りのスペースキャンプ事業をはじめとする同様の活動を行う旨の説明を行った。

また、事務局安田より平成28年度と同様、賛助会費の収入減少が見込まれるところ、固定費にかかる支出は限界なので、収入拡大として受取寄付金を増額する努力により、解決を図る考えである旨の説明があった。

稲田専務理事より、第1号議案を諮ったところ、理事全員一致で了承された。

(6) その他

1) 理事候補者について

稲田専務理事より、新たに理事1名を追加する提案があり、候補者として回覧資料の者(コスモテック社長虎野氏)を次回評議員会に理事増員を諮りたい旨の説明があり、理事全員の了承を得るところとなった。

2) 次回評議員会及び理事会開催日程について

稲田専務理事より、次回の平成29年度決算評議員会、理事会の開催について、各理事の日程を確認した。調整の結果、6月1日(木)14時から理事会、6月19日の週に評議員会を開催することとなった。

3) 連携団体規程の改定について

麻生理事より、参考資料No.4連携団体規定及び参考資料No.7公益財団法人日本宇宙少年団活動委員会議事メモに基づき説明を行った。同規定第29条連携団体長会議の運営について、連携団体長会議の名称を分団長会議に変更、第1項「連携団体長会議は、活動委員会の下に、次により運営する。」の文中「活動委員会のもとに」は削除する旨の提案があり、理事会の理解を得た。稲田専務理事より、実際の作業としては、修正、削除等の影

響が定款に及ばないか等、本規程全体にわたって関連性を吟味し、事務局において検討した結果を次回理事会において正式に規程の新旧の条文を明示した文書を作成して決定することです承された。

4) 2017YAC活動における宇宙ホンモノ体験「衛星データ」の展望

藤島理事より、参考資料No.6に基づき、宇宙ホンモノ体験「衛星データ」を巡る諸活動の質的転換について説明があり、次年度も継続していきたい旨の要望があった。

5) 団員の推移

事務局小定より、参考資料No.5に基づき説明を行った。昨年度から今年度までの団委員数減少は、新規、継続ともに減少していること、平成27年度以前は毎年4、5分団設立していたが、平成27年度以降新規分団の設立が1分団となっていることも要因と考える。その一方で指導員数は、昨年度より40名ほど増加し61分団252名となった旨の報告があった。

麻生理事より、参考資料No.7公益財団法人日本宇宙少年団活動委員会議事メモに基づき、今年度に行われた活動委員会の活動について報告があった。

また、理事会が本来の機能を果たすためには、理事ごとの役割分担を定め、その役割を担当する理事が責任をもって任務を遂行する形態をとる必要があるという意見があった。

以上をもって、本理事会の議事が終了したので専務理事より閉会を宣し、16時00分に理事会が終了した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した専務理事及び監事は記名押印する。

平成28年 3月14日

専務理事 稲田 伊彦 (押印済)

監 事 清水 眞金 (押印済)

監 事 棚橋 秀行 (押印済)